

「小さな学校の大きな挑戦」

# 南富良野高の生徒が大活躍 3年連続で全国大会出場へ

## 3連覇を達成 男子カーリング部

全道高等学校カーリング選手権大会が、1月4日から北見市の河西建設カーリングホールで行われ、南富良野高校の男子カーリング部が見事3連覇を達成し、北海道の代表として、3月20日から青森市で開催される第3回全国高等学校カーリング選手権大会への出場権を獲得しました。

大会には、南富良野高校のほか、常呂高校が中心のルーキーとレバード、深川西高校が中心となったチーム妹背牛の4チーム。総当りの予選リーグを勝ち抜いた、チーム妹背牛（3勝）と南富良野高校（2勝1敗）が共に決勝へ進出しました。

決勝では、予選リーグで負けているチーム妹背牛との対戦でしたが、序盤から優位に試合を進め、6対3で見事に優勝を飾りました。

男子カーリング部は、昨年12月に青森市で行われた日本ジュニアカーリング選手権大会（20歳以下の選手による大会）にも出場し、並み居る強豪を相手に見事準優勝という成績を残しており、「その大会で選手が大きな自信を得たことが、今回の優勝に繋がった。」と顧問の山根克文教諭。

全国大会に向けて、カーリング部員は、週3日という限られた時間の中で、空知川スポーツリンクスで練習に励んでおり、3年連続で全国大会に出場する獅畑主将は、「過去2年の大会では、3位という結果が続いたので、今年こそは優勝したい。」と力強く語ってくれました。

全国大会に出場する選手

獅畑 和樹くん（3年）  
辻 和成くん（3年）  
山田 健人くん（3年）  
橘 磨樹くん（2年）  
村岡 孝幸くん（3年）

## 3年連続全国切符 小柴 早紀さん

1月15日から旭川市のカムイスキーリンクスで行われたスキートの北・北海道高校選手権大会に出場した、スキー部の小柴早紀さん（3年）が、回転で3位、大回転で6位となり、見事3年連続となる全国高校スキー選手権大会（2月2日から新潟県湯沢町）への出場権を獲得しました。

小柴さんは、南富良野高校入学後、唯一のスキー部員として、顧問の尾崎弘樹教諭の指導を受け、これまで練習に励んできました。



男子カーリング部の皆さん（左から、山田くん、獅畑くん、橘くん、辻くん）

中学時代も含めると4年連続5度目の全国大会出場となる小柴さんは、過去最高順位が中学3年生時の2位とあって、「高校生で最後の全国大会になるので、攻めの気持ちで優勝を狙います。」と力強く話していました。



小柴 早紀さん

## 南富中生も健闘 佐々木 魁飛くん 全国大会出場へ



佐々木 魁飛くん

1月16日から札幌藤野フーズスノーエリアで行われた全道中学校スキー大会に於いて、南富良野中学校の佐々木魁飛くん（3年）が回転で6位に入賞し、2月2日から石川県白山市で行われる全国中学校スキー大会の出場権を獲得しました。

佐々木くんは、夏場は、野球部に所属。引退後は、毎日の授業が終わると、南富良野高校の尾崎教諭の元に通い、日々トレーニングを続けてきました。

1月4日から行われた富良野地区予選では、大回転で1位、回転で2位となり、その勢いで全道大会に出場。「調子が良かったので、全国出場が決まりほっとしています。中学校生活最初で最後の全国大会なので、思い切り滑ってきます。」と笑顔で話していました。

池部町長は、「新年早々、中高生の大活躍を聞き、とても嬉しく思います。小さな学校の大きな挑戦として、共に全国優勝を目指して頑張ってください。」と熱いエールを送っていました。